IYS通信

2026年9月発行　2026 9月号

インターユース堺事務局
堺市堺区南瓦町３番１号高層館６階
ダイバーシティ推進部人権推進課内
Tel 072-228-7420
Fax 072-228-8070

初秋の候、会員ならびに関係者の皆さまにおかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申しあげます。また、日頃より当会の事業に格別の御理解と御支援を賜り、心より御礼申しあげます。今年度は６月より、IYS 第 18 期団員 10 名が研修や交流活動に取り組んでまいりました。今年度も「国内で行う国際交流・人権研修」をテーマに、さまざまな学びを積み重ねています。

団員たちは、沖縄スタディーツアーに向けて多様な活動を通して学びを深めています。IYS 小坂副会長によるグループワーク研修では、相手を尊重した対話のあり方について学びました。また、関西大学堺キャンパスでは、アドベンチャープログラム施設を活用したチームビルディングを通じて、仲間との交流を深め、相互理解を促進しました。さらに、IYS 井上事務局長による同和問題に関する講演を通して、差別を自分自身の課題として捉えながら意見交換を行いました。こうした活動を通して、団員たちは多くの出会いや経験を重ね、人権に関する視野をさらに広げることができたものと思います。

また、卒団生や経験者である青年たちが中心となって企画・運営する社会貢献活動「ヤングサンタ事業」も、現在準備を進めております。IYS の魅力の一つは、卒団生や関係者同士の強いつながりにあります。新旧の仲間たちが交流を深めながら、新たな発想や企画を生み出し、これからの IYS の新しい形を築いていくことを期待しています。まだまだ暑い日が続きますが、皆さまにおかれましては、くれぐれも御自愛いただき、実り多き日々を過ごされますことを心よりお祈り申しあげます。

2026年度ヤングサンタ

ヤングサンタ実行委員会では、スタッフの確保や参加家庭の募集など、今年度の活動がより楽しく実り多いものとなるよう、準備や協議を進めています。

昨年度の実施内容を参考にしながら、今の自分たちだからこそできることは何かを考え、新たな企画づくりに取り組んでいます。また、昨年度の第 17 期団員も加わり、新たなメンバーの柔軟な発想と力を生かしながら、これまでの伝統を大切にしつつ、新しいヤングサンタを創り上げてくれることを期待しています。

ヤングサンタ事業は、こどもたちにクリスマスの楽しさや夢を届ける、大変意義深い社会貢献活動です。青年たちの活躍にご期待いただくとともに、引き続き温かい御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。







サンタさんは、各家庭の希望に応じて、お宅を訪問した際に一緒に工作をしたり、歌を歌ったりする予定です。また、絵本の読み聞かせや励ましのメッセージの読み上げなどにも対応することができます。

ヤングサンタ実行委員会では、「サンタさんは普段のがんばりを見守ってくれている」とこどもたちに感じてもらえるよう、日頃のがんばりをたたえるメダルやメッセージカードを贈るなどのアイデアも提案されました。

私たちにできることを明確にしながら、今後の家庭説明会を通してスタッフとご家庭とのつながりを深め、それぞれの希望に寄り添った訪問内容について提案・検討を進めていきたいと考えています。





2026年度の活動報告

「結団式」６月19日（金）堺市役所



この日は団員10名が集まり、結団式を行いました。
自己紹介の後、それぞれが研修を通して学びたいことや
今後の目標について考えました。以下、一部を紹介します。

【学びたいこと】
- 部落差別の話を聞いて、自分の知識を増やしたい。
- ニュースや教科書だけでは学ぶことのできない現地の現状や課題について、現地に赴いて自分の目で見て感じながら学び、自分なりの考えを深めていきたい。
- 沖縄研修後のこどもたちと接する活動（ヤングサンタ等）を通じて、多様な価値観に触れたい。
- 多様な人たちと関わることで、自分とは違う考え方を知り、新たな自分の材料にしたいと思う。

【今後の目標】
- 噂や偏見に流されないように、正しい情報をパネルや報告書を通じて積極的に発信したい。
- 普段の生活では得られない経験や出会いを通じて、自信の固定観念を見直し成長につなげる。
- 戦争について詳しくなって、こどもにリアリティのある話を伝えれるようになりたい。
- 「聞くだけでは忘れる、見たら学ぶ」がどういうことかの答えを見つけたい。



「価値観を理解し合うグループワーク」７月 10 日（金）堺市役所





【ふりかえり】

- みんながみんな他人の意見を尊重するので、のびのびと討論しやすかった。もし、今後意見の相違があったとしても、自分の意見を積極的に話せると思った。
- みんながチームの話を聞いて相手の意見を貶したりせず、尊重していくことが大切だと思いました。
- どの人も自分の意見をしっかり表明していて頼もしい。まだそれぞれのキャラクターが把握できていないが、徐々に知っていきたい。

「エレメントを使ったチームビルド」７月 25 日（土）関西大学堺キャンパス





【ふりかえり】

- 課題に直面した時、１人の力では達成するのは不可能であることはもちろん、課題を乗り越えるためにどうすれば良いか、みんなで話し合ううちに、仲を深められたのが良かった。
- 何かを成し遂げるとき、やっている人たちだけでなく、直接関わっていない周りの人の支えもあってみんなの力がないと成功できないと感じた。
- 課題解決を図るためには、自分の意見を発信するだけでなく、相手の意見も聞き、お互いに協力することが重要だと感じた。

「世界の人権の流れ」７月 31 日（金）堺市役所





【ふりかえり】

- 今ある当たり前は、過去の人たちが積み重ねてきて当たり前になっていることを知りました。
- 「セクハラ」という言葉が最近に出来た言葉だと知って、興味深いと思った。
- 人権は、尊重されなければならないことだと、改めてわかりました。

「同和問題について学ぶ」８月１日（土）堺市立人権ふれあいセンター（あいてらす堺）





【ふりかえり】
- 差別は無知、無自覚、無関心から生み出され、それは知ることによってなくすことに近づける。
- 当時の住居を見て、あんなに狭い部屋で雨漏りをしながら生活をしていたことにとても驚きました。
- 同和地区に住んでいる人の声を聴いて、今でも差別が残っているうえ、自分たちと身近なところでも無意識のうちに差別が生まれているのだと知った。
- 「〇〇だからこういう人」と決めつけるのではなく、１人ひとりをひとりの人間として見ることが必要だと思った。

「住吉の地域の歴史とまちづくり」８月８日（土）すみよし隣保館 寿





【ふりかえり】
- 住吉地区のフィールドワークを通して、他地域との貧富の差や、部落差別があったという実態が少しずつ理解できたと思う。
- 部落差別の歴史を知り、考えや思いを理解することが差別をなくすことに繋がっていくと思う。
- 部落差別というのは、昔に限った話ではなく、今でも残っていることを知った。
- 差別する側の考えを変えることが大事だと分かった。

事務局より

研修を重ねるごとに、団員の皆さんの人権に対する学びが着実に深まっていることを感じます。講義や話し合いの中で、自分自身の考えを振り返ったり、多様な立場や価値観に目を向けたりする姿から、皆さんが一つ一つの学びを大切にしながら成長している様子が伝わってきます。

また、学んだことを知識として蓄えるだけでなく、「自分たちに何ができるのか」という視点で考えようとしている姿勢も大変頼もしく感じています。人権課題を身近なものとして捉え、仲間と意見を交わしながら「よりよい社会の実現」に向けて考えを深めていることは、今後の活動につながる大きな力になると信じています。